

令和3年8月18日

関係者各位

「ワークセンター一条」における、新型コロナウイルス感染 濃厚接触者発生に関して

昨日8月17日に、社会福祉法人函館一条が運営する通所事業所 ワークセンター一条において、職員の同居家族1名に新型コロナウイルス感染が確認されました。当該職員は濃厚接触者に該当します。

経緯を説明しますと、当該職員の同居家族に咳、頭痛等の症状が見られ、17日にPCR検査を受け、陽性と診断を受けました。当該職員は無症状ではありますが濃厚接触者となり、18日にPCR検査を行っております。(現在の時点では結果がでておりません) 当該職員は、16日の午前中のみ勤務で、17日は自宅待機となっており、職員や利用者との接触は極めて少ない状況でした。

感染者となった当該職員の家族は、2～3日中に療養施設で隔離治療を受けることとなります。状況は、函館市保健所、函館市指導監査課にも報告しており、指示を待っている状態です。(当該職員の結果次第ということになります)

当事業所の対応としましては、17日にはほぼ全家庭に電話連絡をし、可能な方は18日の出勤を控えて頂き、利用される方に関しても、少人数の活動を行っております。

GHに関しては、通所事業所を利用せず、GHに職員が訪問し作業等の活動と昼食を提供しております。なお、少なからず接触のあった職員に関しても、自宅待機としております。

社会福祉法人函館一条では、今後も速やかに情報をお伝えしていきます。改めて利用者、ご家族の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

度重なる感染者・濃厚接触者発生により、保護者の皆さま、ご家族の皆さまにはご心配をお掛け致します。しかし、何度も申し上げますが、ますます厳しくなる感染拡大の情勢の中で、誰もが感染者、濃厚接触者となる可能性を等しく持っております。

当法人としましては、今後も感染者・濃厚接触者となった方やそのご家族の安全を支えるためにできる限りの努力をさせて頂く所存です。

このたびの感染者・濃厚接触者の発生に関するいわれなき差別や誹謗中傷、いたずらに個人情報を探る行為等は是非とも慎んでくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人 函館一条
理事長 尾形 永造

ワークセンター一条
管理者 木田 祥平